

図書館だより

開館時間（共通）9：00～17：30
 中央図書館 ☎ 0558-76-5566
 葦山図書館 ☎ 055-949-8605
 URL <http://www.izunokuni.library-town.com/>



今月のおすすめ

一般
【中央】
【葦山】



めぐりと私。
大崎梢／著
東京創元社

三千冊の本を乗せた移動図書館「本バスめぐりん」。本と人を繋ぎ、悩める「私」のささやかな謎をときほぐす。ハートフルミステリ連作集、第2弾。

一般
【中央】



全員悪人
村井理子／著
CCCメディアハウス

「毎日代わる代わるやってくる人たちは誰?」「その人は本物のお父さんではない」認知症患者の不安や苦しさを当事者目線で描く。現在も介護中の著者が綴る家族小説。

一般
【葦山】



最高のアフタヌーンティーの作り方
古内一絵／著
中央公論新社

老舗・桜山ホテルで、憧れのアフタヌーンティーチームへ異動した涼音。企画書を却下され悩むが、スタッフの隠れた努力を垣間見て企画を練り直す。お仕事・食べ物小説。

一般
【葦山】



美しい和菓子の図鑑
青木直己／監修
二見書房

みたらし団子は五体を表し、昔は人の形だった。平安時代、厄除けに食べた七夕の「素餅」（さくべい）は素麺の原形? 和菓子を知ると日本の歴史、文化がわかる。

新着本コーナーから

- | | | | |
|----|---------------|--------------|----------------|
| 一般 | わたし、定時で帰ります。3 | ライジング | 朱野帰子／著【葦山】 |
| 一般 | 義士切腹 | — 忠臣蔵の姫阿久利 — | 佐々木裕一／著【中央】 |
| 一般 | 破天荒 | | 高杉良／著【中央】 |
| 一般 | エレジーは流れない | | 三浦しをん／著【中央・葦山】 |
| 一般 | 災害とたたかう大名たち | | 藤田達生／著【葦山】 |
| 児童 | へんてこたいそう | | 新井洋行／作・絵【中央】 |

7月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	⑤	6	7	8	9	⑩
11	⑫	13	⑭	⑮	16	17
18	⑰	20	⑱	⑳	㉑	㉒
25	㉓	27	㉔	29	㉕	31

○中央休館日 □葦山休館日
◇両館休館日 ☆おはなし会

7月のおはなし会

中央図書館 10日(土) 11:00～
 葦山図書館 10日(土) 14:00～
 24日(土) 14:00～
 (予約不要)
 くぬぎ会館こども広場
 15日(木) 10:10～
 ☎ 0558-76-1346 (要予約)

お知らせ

読書感想文の課題図書

中央・葦山各図書館にそれぞれ課題図書コーナーを設けています。

コーナー設置期間／
7月1日(木)～

8月31日(火)

課題図書は利用が多いため、期間中の貸し出しは、1人1回1冊まで、期間は1週間です。

多くの方が利用できるよう、ご協力をお願いします。

文化財通信

その193

伊豆の国市からはじまる北条義時の足跡

第7回 北条義時に関わる文化財 ③

〔北条義時ゆかりの神社〕

☎ 文化財課 ☎ 055-948-1428



豆塚神社

北条義時に関わる文化財、今回はゆかりの二つの神社を紹介します。
 長岡地区江間の豆塚神社は古代から続く古い神社で、『延喜式神名帳』（*1）の「石徳高神社」に該当すると言われていました。江戸時代は豆塚大明神とも呼ばれました。豆塚神社には、江戸時代の元文5年（1740）に神社の由緒を書いた「梁銘」という古い板が残っています。銘文は通常は建築材の梁や柱などに書く場合が多いのですが、この「梁銘」は、縦約38cm、横約124cm、厚さ2cmの板状なので、梁に打ちつけた板であった可能性があります。内容は多岐にわたりますが、注目

したいのは以下の文です。
 豆塚神社の霊廟は、もとは小池堀丸山にあった。
 人王83代の頃（土御門天皇、鎌倉時代初め頃）、相模守江間小次郎（*2）義時が、もとの廟をこの地に移し、新しく社を建てた。
 小池堀丸山とはどこでしょうか。古い地籍図を見ると、現在の伊豆中央道江間料金所付近に「丸山」という小字があります。伊豆中央道を通る前は、ここに独立した小山があったことを記憶している人もいます。ではないでしょうか。また、「丸山」の西側には「小池」、南側には「大明神」という小字もあります。この「梁銘」から、義時が「丸山」に祀られていた神を、自身の館や北條寺に近い場所に移し、再興したことを読み取ることができます。
 もう一社は、同じ江間にある珍場神社です。珍場神社は、元久元年（1204）に、義時が創立したと伝えられています。かつては由緒を記した棟札があったそうですが、今は失われ、写しが残るだけです。それによれば、義時の長男が大蛇に襲われ亡くなり、これを嘆いた義時が、子の霊を祀

るため若宮八幡宮を勧請して現在の珍場神社を創立した、ということです。子に似た木像を彫刻して若宮八幡神とした、という言い伝えもあります。
 さて、前回の北條寺建立の由来にも、「大蛇に襲われ亡くなった義時の子」が出てきたのを覚えていますか。じつは、このほかにも江間の各地に、義時の子と大蛇の話が伝えられています。今回は、義時やその子に関する伝説を紹介しましょう。
 (*1) 平安時代中頃にまとめられた法令集の中にある全国の官社の一覧。
 (*2) 原文では小次郎となっているが、小四郎のこと。江戸時代の史料には、小次郎と書かれる場合がある。



珍場神社